

高校の種類を知ろう！

このお便りは保護者の方も必ずお読みください。

「高校」と一口に言っても、その種類は様々です。今回の進路だよりでは、高校に関する全般的な知識を身に付けてもらえるように情報提供します。皆さんが現時点で気になっている学校は、この中のどれに該当するのか、改めて考えてみましょう。

1. 高校には、「公立高校」と「私立高校」があります。身近なところでは…

- 「公立高校」… 北海道が設置している「道立高校」(例:東陵、東豊、丘珠、北陵、英藍、石狩南、大麻、石狩翔陽、北、東、南、西、白石、月寒、札幌工業、琴似工業、東商業、など)と、札幌市が設置している「市立高校」(旭丘、藻岩、平岸、清田、新川、啓北商業、大通)があります。



授業料…月額 9,900 円 入学金 5,650 円(全日制の場合)

- 「私立高校」… 地方自治体(北海道や札幌市)以外の団体や個人が設置、運営しています。

授業料…月額 3万円程度 入学金 20～30 万円程度

納入額は高校によって異なります。また、授業料以外にも「維持費」「生徒会費」「後援会費」などの諸費用が必要となりますので、あくまで目安とお考えください。

「高等学校等就学支援金制度」の利用により、公立高校に通う生徒には授業料に相当する額が支給されます。私立高校に通う生徒には公立高校と同等額、あるいは年収によっては、私立高校の平均授業料を勘案した支援額が支給されることになっています。(高校入学後の手続きになります。)

文部科学省のホームページからダウンロードしたリーフレットも併せて配付しています。家族構成別の年収目安なども掲載されていますので、詳細はこちらでご確認ください。

2. 高校の課程には、「全日制」、「定時制」、「通信制」があります。

- ◆全日制的課程… 平日昼間に授業を行う一般的な課程です。3年間で卒業となります。
- ◆定時制的課程… 全日制よりも短い時間帯で学校に通います。夕方から夜にかけて学習する夜間定時の他に昼間定時もあります。また、大通高校は午前、午後、夜間の3部制を採用しています。通常は4年間で卒業ですが、学び方の工夫により単位を多く取得するなどの条件がそろえば、3年間で卒業できる場合もあります。
- ◆通信制的課程… 自宅で学習してレポートを提出し、スクーリング(面接指導)を受けることで卒業に必要な単位を取得します。通信制ながら自分の生活スタイルに合わせて通学できるコースを設定している学校も多いです。3年以上の修学になります。

公立… 有朋

私立… とわの森三愛高等学校と札幌静修高等学校(←通信制課程が新設)、
クラーク記念国際、星槎国際、北海道芸術、ヒューマンキャンパス、
池上学院、自由が丘学園三和、日本航空学園、飛鳥未来、第一学院、
NHK 学園、青森山田学園、N、S、ワオ、他

3. 単位の取得方法には、「学年制」と「単位制」があります。

- 「学年制」… 学年ごとに取得すべき単位数が決まっています。単位が足りなければ進級できません。基本的に学校が決めた時間割で学習します。
- 「単位制」… 学年による区分を設けておらず、3年間で決められた単位を取得すれば卒業できます。自分の興味・関心、希望進路等に応じて科目を選択し、学習できるシステムです。（東陵、白石、手稲、英藍、大麻など）

4. 高校の学科には、「普通科」、「専門学科」、「総合学科」があります。

- ◆「普通科」… 幅広い知識や教養を身に付けるために、国語、数学などの普通教科を中心に学習します。専門コース（平岸のデザインアートコース、清田のグローバルコース）やフィールド制（あすかぜ・平岡）、ブロック選択制（丘珠）など特色ある学校づくりを進めています。
- ◆「専門学科」… 主要教科（国数英など）のほか、工業や商業などそれぞれの学科の専門的な学習をします。（農業科、工業科、商業科、理数科、体育科、外国語科 など）
- ◆「総合学科」… 主要教科から専門教科（農業、工業、福祉、音楽、美術等）にわたり幅広く開設された科目の中から、興味・関心や進路希望等に応じて選択して学びます。選択の目安となるよう、関連する科目群を「系列」として設定しています。

石狩翔陽 → 人文・自然科学系列、ビジネス・情報系列、芸術・スポーツ系列、生活・福祉系列

厚 別 → 数理系列、人文・系列、美術系列、音楽系列

5. 高校とは別に、高等専門学校（高専）もあります。……公立、私立との併願が可能

5年間一貫教育で優れた専門技術者を養成する学校です。高専卒業後は大学に編入できる制度もあります。道内には四つの高専（苫小牧、旭川、函館、釧路）がありますが「複数校志望受験制度」を採用しており、最大で4高専（9学科）を併願することも可能です。

第1回進路希望調査について

提出締め切りは、来週の 24 日（月）です。現時点での希望を記入してください。前号で記入するための準備が必要だということを述べましたが、大丈夫でしょうか。教室の棚には、昨年度の資料が置いてあります。進路のしおりや道新プラスを見たり、クロームブックでホームページを見たりすると、各高校の特色が紹介されています。大切なことは、自分の進路を真剣に考え、調べたり、人に聞いたりして自分からアクションを起こすことです。それが受験勉強の動機につながると思います。

